学校経営の概要

経営の基本方針（経営の構造図）

「夢と自信をもち　魅力あふれる宍粟の明日を担う人づくり」

校　訓

自律共尊（光り輝く顔）
自学創造（光り輝く目）
自己錬磨（光り輝く汗）

学習指導要領
県指導の重点
宍粟の教育

地域の願い
保護者の願い
生徒の実態

学校教育目標

知徳体の調和のとれた　実働する　こころ豊かな生徒の育成
～宍粟に生き　宍粟を活かす生徒の育成～

特色ある学校づくり

地域総がかりの学校づくり

めざす学校像

- ○安全・安心で笑顔あふれる居心地のよい学校（自律共尊）
- ○美しい教室、美しい校庭、美しい学校（自己錬磨）
- ○生徒が主体的に学び、魅力あふれる授業のある学校（自学創造）
- ○地域に信頼され、地域に開かれた学校（自律共尊）

めざす生徒像

- ○認め合う（自律共尊）
  （心豊かで思いやりのある生徒・命と人権を大切にする・故郷に誇りをもつ）
- ○学び合う（自学創造）
  （自ら考え、主体的に学ぶ生徒・お互いの考えを認め合う・深く学び創造性を伸ばす）
- ○鍛え合う（自己錬磨）
  （健康でたくましい、最後までやり遂げる、自らを律する勇気をもつ）

めざす教師像

- ○教育的愛情にあふれ、生徒を大切にする教師（自律共尊）
- ○研修と修養に努め、学び続け、向上心を持つ教師（自学創造）
- ○保護者や地域を尊重し、校風を育む教師（自己錬磨）

本年度重点目標

自立への挑戦　～高め合い、認め合う仲間づくり～

本年度努力目標

① **新しい時代に必要な学力を育む学習指導**
- ・各教科の基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着を図る。また家庭での学習課題の適切な設定から学習習慣の定着を図る。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進め、教科部会や校内研修会を充実させ、めあて・ねらいの共有、振り返りの重視を徹底し、自らの学びを実感させる。
- ・1人1台のタブレット端末をはじめICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、段階に応じた効果的で分かりやすい授業づくりに取り組む。
- ・評価規準に基づいた適切な評価を行い、生徒が次の学習に向かうことができるよう、指導と評価の一体化に取り組む。

② **豊かな人間性を育む道徳教育、人権教育**
- ・「特別の教科道徳」の授業時数を確保し、他者や自己との「対話」により、生き方について考えを深める道徳を展開することで生徒の道徳性を育む。
- ・自立した人間へと成長していくために、自らの生き方を見つめさせるとともに、規範意識を培い、命と人権を尊重する心や奉仕的精神の涵養を図る。
- ・同和問題をはじめとし、性の多様性や様々な人権課題解決に向けた学習に取り組み、命と人権を大切にする生徒の育成といじめや差別や偏見を許さない学校文化を構築する。

③ **健やかな心と身体を育む特別活動、部活動、健康教育、食育**
- ・生徒個々が達成感と自尊感情を体得できる学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動を有効的に展開する。
- ・キャリア教育を推進し、4つの「基礎的・汎用的能力」の育成を図る。授業、生徒会活動等すべての教育活動においてキャリア教育の視点を持ち実践する。また「キャリアノート」を活用し、生徒自身が成長を意識し、振り返ることで将来の生き方を考えることにつなげる。
- ・生徒会活動や、部活動の学校生活を通して自己有用感や健やかな人間関係の構築を図る。
- ・現代的な健康的課題解消に向けて、生徒、保護者、教職員の学校保健への意識の向上と保健教育を充実させる。
- ・食育を充実させ、学校給食を通して望ましい食習慣の確立を図る。

④ **学校のユニバーサルデザイン（UD）化と特別支援教育の充実**
- ・学校のUD化を進め、落ち着きある学校環境づくりを推進。言葉かけ、分かりやすい授業づくりに取り組み、「誰もが安心・安全で居心地のよい学校づくり」を確立する。
- ・事例研修やQ－U調査、カウンセリングマインド研修を充実させ、支援を要する生徒も含め個々の生徒のアセスメントを通して困り感に寄り添った支援ができるよう、全教職員の共通理解を深める。
- ・特別支援コーディネーター・不登校担当・養護教諭の連携のもと、SC、学校生活支援員（通級指導）、特別支援教育推進員、更には教育支援センター等の関係機関と連携を深め、教職員の共通理解・共通認識による協働体制を確立する。

⑤ **地域総がかりの西中教育の推進**
- ・学級通信、学年通信、西中だより、タブレット端末、ホームページ等を活用し、保護者や地域に対して本校の教育方針の理解を図る。また、本校の教育活動についてのメール等を活用して積極的、かつ丁寧な情報発信を行い、開かれた学校を目指す。
- ・学校評議員による学校評価と連携した学校運営の改善をもとに、学校・家庭・地域・関係機関の密接な連携のもと、危機管理体制を確立し、安全で安心な学校づくりに努める。
- ・山崎西中校区パートナーシップの連携推進により系統的な教育を意識し、交流を深める。

創学の教育精神

一つにしよう　心と力